

わくわく中部

中部教育局社会教育担当より
令和8年7月9日発行



写真:コウノトリ(北栄町島)

7月の体験活動イベント

子どもたちの体験活動を応援します!

11日(土)	「ぼうさいこくたい2026in鳥取」開催100日前記念イベント	(鳥取県立美術館、大御堂廃寺跡)
12日(日)	探鳥会「鎮守の森で夏鳥に会おう!」	(倭文神社)
18日(土)	古代まつりin中部	(上灘コミュニティセンター)
20日(月)	ワークショップ「スクリーントーンってなあに?」	(鳥取県立美術館)

ちゅうぶくんが行く!

中部のヒト・モノ・コトを訪ねて



成美地区公民館(琴浦町)



昨

年、ふなのえこども園との複合施設となった、成美地区公民館に行ってきました。

この日は、成美地区公民館主催の「ほしぞら探検隊」が開催されました。集合時間の午後7時30分はまだ空が明るく、月が見えていたため、参加者は天体望遠鏡で月を観察しました。その後、小雨が降り始めたため、館内で星空についての解説を聞きました。解説が終わる頃にはタイミングよく雨もやみ、最後は屋外で実際の星空を眺めながら解説を受けることができました。

天体望遠鏡でも肉眼でもたくさんの星を見ることができ、美しい星空を満喫することができました。天候の変化に合わせて活動内容を工夫しながら進められたことで、参加者にとって思い出深い体験となったと感じました。

こども園との複合施設ということもあり、気軽に集える明るい雰囲気の施設に生まれ変わりました。

今回、美しい星空を見た子どもたちには、感動を体験した大切な場所として、記憶に残りますね!



暗くなる前から月の観察ができました!



星空解説は子どもたちにもわかりやすい丁寧な解説でした!



屋外では北斗七星などがきれいに見えました!

地域とともにある学校づくり

みささ学校運営協議会

6月16日(火) 三朝中学校

三朝町の小中合同での学校運営協議会「みささ学校運営協議会」で熟議が行われました。

会場はあらかじめ4～5人ずつの3つのグループに分かれて座るように準備されていました。熟議のテーマは、「地域を愛し、地域に貢献する子どもたちを育てるために～行事への参加をととして子どもたちの活躍の場をどう作るか～」でした。委員の皆さんは熟議に慣れておられ、どのグループでも活発に意見交換がなされました。

「子どもが少ない地域には、他の地域から子どもを招かせる。」「子どもが参加しやすくするために親と一緒に活動できるようにする。」などの意見が出されたほか、中学生については「中学生は行事に参加ではなく、参画する。」という意見が、どのグループでも挙がりました。

みささ学校運営協議会は、年間5回の実施で、熟議は第2回(今回)と第4回に行われます。第4回は、今回と同じテーマ、同じメンバーで熟議を行う予定とのことでした。

今回の熟議では、地域の行事を単なる「参加の場」としてではなく、「子どもたちが役割を担い、地域を支える場」として捉える意識が共有されていたことが印象的でした。特に、中学生について「参加ではなく参画」という意見には、地域の一員として主体的に考え、行動することへの期待が込められているように感じました。

また、同じメンバーで第4回の熟議を行うことで、今回出された意見を振り返りながら、より具体的な取組へと話し合いを発展させることが期待されます。熟議を一度きりで終わらせず、継続して議論を重ねることで、学校と地域が共通の目標を持ち、実践につなげていくことができると感じました。



健康づくり・地域づくり

西郷ミーティング

6月17日(水) 西郷コミュニティセンター

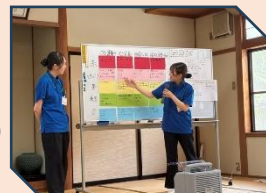
鳥取看護大学生の地域志向展開実習として、健康についての「西郷ミーティング」が開催され、大学生と地域の方、合わせて約40名が参加しました。

はじめに、鳥取看護大学4年生によるミニ講話があり、フレイル予防には「運動」「栄養」「歯と口の健康」「社会参加」の4つが大切であることが紹介されました。

その後のグループトークでは、各グループに大学生が進行役として入り、「運動」「栄養」「歯と口の健康」「社会参加」をテーマに意見交換が行われました。私が参加したグループでは「ウォーキング」「ストレッチ」「筋トレ」「食事の内容」などの話題で話が弾み、参加者の皆さんの健康やフレイル予防に関する意識の高さを感じました。

参加者からは、「他の人の健康づくりの工夫を聞くことができて参考になった。」「普段の生活を見直すきっかけになった。」「大学生と話ができて楽しかった。」などの声が聞かれました。一方、大学生にとっても、地域の方々の豊富な経験や日頃の健康づくりの実践を直接聞くことができ、学びの多い時間となったようです。

参加者同士が互いの取組を紹介し合い、笑顔で会話を交わす様子からは、健康づくりには人とのつながりや交流も大切であることを改めて感じました。地域の皆さんと大学生がともに学び、健康について考える、とても有意義な機会となりました。



大学生の明るく元気な進行で、参加者の話が弾み、参加するだけでも、元気がもらえる、素晴らしい取組でした!



【トピックス】「ドラゴンカヌーを体験!」

第47回少年少女のつどいが湯梨浜町で開催され、中部地区の小学4～6年生21名が参加しました。今回の活動のメインは、東郷池でのドラゴンカヌー体験でした。子どもたちが集合した時間帯は風が強く、実施が心配されましたが、準備をしている間に風が弱まり、予定どおり体験を行うことができました。

どの班も、指導者の方の合図に合わせて、全員で力いっぱい漕いでいました。途中から小雨が降り始めましたが、風がほとんどなくなったことで漕ぎやすくなり、最後には4艇が並んで競争することもでき、大いに盛り上がりました。カヌー体験の後は、倉吉グレートライオンズクラブの皆さんが用意してくださったカレーライスを班ごとに囲んでいただきました。

集合した当初は緊張した様子だった子どもたちも、活動を通して交流を深めるうちに自然と打ち解け、最後にはたくさんの笑顔が見られ、充実したひとときとなりました。



自然体験活動には協調性やコミュニケーション力などの非認知能力を育む大きな力があることを改めて感じました!

